

築13年でリフォームを計画されたN様。きっかけは「1年中快適な室温に包まれて暮らしたい」という思いだった。

そこで導入されたのが高性能な全館空調システム。建物はもともと気密・断熱性に優れたツーバイフォー住宅で、既存の床や壁の断熱材がそのまま活かされたため、ペアガラスの採用と小屋裏断熱の敷き増しのみで気密・断熱性能が向上。

以前からこのシステムの機能に惹かれながらも、エアードクトで狭さが生じることを懸念されていたご夫妻だが、たとえばリビングではドアの真上といった死角になる部分にエアードクトを収め、その他の部分は天井高を保つプランにより「圧迫感はまったく感じられず、エアコンの室内機がなくなり、壁に吹き出し口があるだけなので、むしろ見た目はすっきりしましたね」とおっしゃる。

同時に間取りも大幅に変更。リビングとダイニングは一体感が高まり、スペースも広がって念願だった“ホームパーティが開ける”伸びやかな空間が実現した。

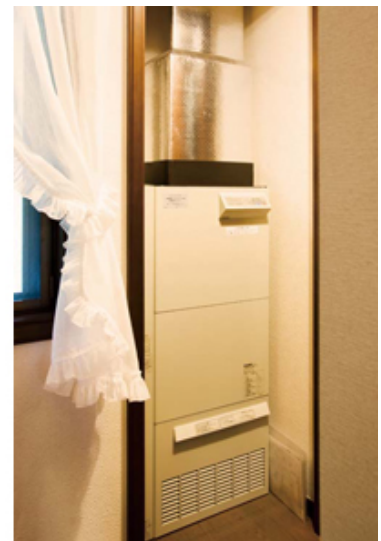
「オープンな空間でも窓際や出入口の温度ムラが少なく、家中が快適な温度に包まれます」と、ご夫妻は結果に大満足のご様子である。



▲広く生まれ変わったリビングとダイニングは伸びやかな表情で、ご家族のお気に入りの場に



▲全館空調システムの吹き出し口は空気の流れを考えて設置。エアードクトによる天井の圧迫感は感じられない



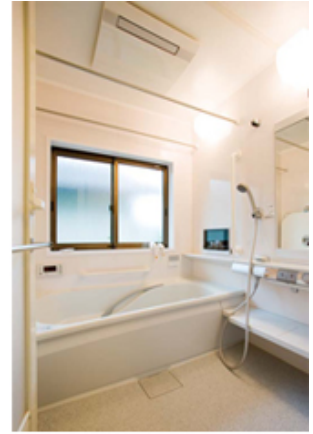
▲室内機は場所をとらず1台で家中の換気・冷暖房をコントロール



▲あまり使われなかった和室は洋室に変更。大容量で物の出し入れがしやすい床下収納を設置



▲玄関は、収納部を移動することで階段スペースとのつながりが生まれ、広々と変身



▲浴室は2階に移動。液晶テレビやミストサウナも設置された

DATA

築年数：約13年

リフォーム年月：2007年12月

工期：4カ月

費用：約2,200万円（内装・外装・外構等の合計）

施工：[三菱地所ホーム株式会社](#)

URL：<https://www.mitsubishi-home.com/>